

第2次G活チャレンジ！ステキにごみダイエット

「ご・み・だ・い・え・っ・と」の7つの取り組み。これはごみを減らすために、皆さんに取り組んでいただきたい宣言です。出前講座などで、皆さんに伝えていきます。

できることから家庭で取り組みましょう

ごみ減量課 小川 枝里子

- ご** ごちそうさま！料理は無駄なく、適量で
- み** 水気をきゅっ！生ごみスッカリダイエツト
- だ** 段ボール、紙切れだって資源です
- い** 活かします！小さな家電のレアメタル
- え** 選んで持ちます！マイはし、マイボトル、マイバッグ
- つ** 使えます！衣類や靴やぬいぐるみ
- と** とことん分けます！プラスチック

35gはA4コピー用紙7枚分です

35gのごみを減らすには

1. 広報まえばしを古紙回収に出してください。これで**60g**減量です。
2. マイバッグを持って、レジ袋を断りましょう。1枚**10g**減量です。
3. 生ごみの水気をぎゅっと、ひとしぼり。水切りでごみ100gあたり**10g**減量です。

まずは、**毎日のごみ**の排出量を

1人 35g

減らしましょう

計画では、平成32年度までの5年間で1人1日当たりのごみの量を、35g減量することを目指しています。



(左)水と緑と詩のまち・前橋。豊かな自然環境は私たち前橋市民の宝
(右)赤城白川の水質を検査する子どもエコクラブ。南橋地区ではごみ減量やリサイクル活動だけでなく、子どもたちへの環境教育にも熱心だ

持続可能な循環型社会では、私たち一人一人のライフスタイルを、環境負荷の小さいものにするのが重要です。市民・事業者・行政が一体で取り組み、平成26年度のごみの総排出量は平成21年度に比べて5・7割減少。資源ごみの量は、平成24年度から紙のステーション収集を開始したこともあり、5・9割増加し、リサイクルが進みました。

これまでも一定のごみ削減に成功していますが、平成26年度からは衣類などの回収も開始。さらに資源回収量の増加が見込まれます。計画では、平成32年度の減量化目標を定め、それを達成するための具体的な行動指針として「第2次G活チャレンジ！ステキにごみダイエット」を実施。計画について詳しくは本市ホームページをご覧ください。



今後10年の目標を立てました

一般廃棄物処理基本計画を策定しました

市民からの公募や学識経験者、事業者などからなる審議会を設置して、一般廃棄物処理基本計画を策定しました。これは市民・事業者・行政がみんなで力を合わせてごみの減量を目指す計画です。

問い合わせは ごみ減量課 ☎027-898-6272



「計画の内容を知っても、何をどうしたいかわからないと思います。まず取り組んで欲しいのは、生ごみの水切り。ぎゅっと、ひとしぼりするだけでかなりのごみ減量に。意外に水を捨てている量は多いんです。さまざまな取り組みがありますので、自分にもできそうなものを、気軽にできることをやればいいと思います。」

「他の委員さんの意見も刺激になったのでは。」

「ごみ排出の現場にいる自治会の代表者からは、まったくルールを守らない人もいるとの驚く話もありました。課題はたくさんありますね。でも、それぞれの立場での熱い思いを知り、自分も頑張ろうと思えました。」

「計画を踏まえて、私たちはまず何に取り組んだらよいでしょうか。」

計画の内容を知っても、何をどうしたいかわからないと思います。まず取り組んで欲しいのは、生ごみの水切り。ぎゅっと、ひとしぼりするだけでかなりのごみ減量に。意外に水を捨てている量は多いんです。さまざまな取り組みがありますので、自分にもできそうなものを、気軽にできることをやればいいと思います。」

「今この時代に即した計画になっているとすごくいいですね。」

「はい。リサイクルの会の活動でも、ごみはただ捨てるものという意識から、環境のために資源にするという考えに変わる過渡期にあると感じています。子どもたちの未来に、よりよい環境を残したいですからね。」

「さまざまな立場の人が参加しましたが、皆さん真剣そのもの。市の担当者からは、行政として市民の意見に応えようという前向きな姿勢を感じましたね。現状をしっかりと把握して計画を作るために、よい話し合いをしたのですか。」

「南橋リサイクルの会で、ごみの減量を20年以上続けています。市が一般廃棄物処理基本計画を策定するために市民から委員を公募していると知り、その経験を生かしたいと。私は主婦ですから、その視点も代表するという意識で参加したんです。」

「審議会ではどのような話し合いをしたのですか。」

「さまざまな立場の人が参加しましたが、皆さん真剣そのもの。市の担当者からは、行政として市民の意見に応えようという前向きな姿勢を感じましたね。現状をしっかりと把握して計画を作るために、よい話し合いをしたのですか。」

「今この時代に即した計画になっているとすごくいいですね。」

「はい。リサイクルの会の活動でも、ごみはただ捨てるものという意識から、環境のために資源にするという考えに変わる過渡期にあると感じています。子どもたちの未来に、よりよい環境を残したいですからね。」

「今この時代に即した計画になっているとすごくいいですね。」

「はい。リサイクルの会の活動でも、ごみはただ捨てるものという意識から、環境のために資源にするという考えに変わる過渡期にあると感じています。子どもたちの未来に、よりよい環境を残したいですからね。」

「今この時代に即した計画になっているとすごくいいですね。」

「はい。リサイクルの会の活動でも、ごみはただ捨てるものという意識から、環境のために資源にするという考えに変わる過渡期にあると感じています。子どもたちの未来に、よりよい環境を残したいですからね。」



廃棄物減量等推進審議会委員 佐藤 裕子さん 上細井町